

「ひろしま砂防アクションプラン2021」の進捗状況について

1 要旨・目的

「ひろしま砂防アクションプラン2021（以下、「計画」という）」に掲げる成果目標等の進捗状況について、総点検を行ったので、その結果を報告する。

2 現状・背景

社会資本未来プランの関連計画として、本計画を令和3年3月に策定（計画期間：令和3年度～令和7年度）し、計画的に事業を推進している。

この度、計画策定から2年が経過したことから、進捗状況の取りまとめを行うとともに、進捗状況を踏まえた今後の見通しも含めて報告するものである。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

ア 事業量確保の状況

投資額については、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」など有利な財源を最大限活用しながら事業量の確保に努め、計画期間（令和3年度～令和7年度）の投資予定額約430億円に対し、令和5年度当初予算までの実績は352億円となっている。

イ 事業実施状況（令和5年7月末時点）

計画箇所数431箇所のうち、417箇所で事業に着手しており、このうち、完成箇所については、計画している250箇所に対して、98箇所の完成となっている。

区分		計画箇所数（R3～R7）			事業化箇所数	
		完成	継続	計		うち完成
通常	砂防事業	35	100	135	129	4
	急傾斜事業	49	81	130	130	8
	小計	84	181	265	259	12
平成30年 災害対応	砂防事業	134	0	134	134	74
	急傾斜事業	5	0	5	5	3
	小計	139	0	139	139	77
老朽化 対策	堰堤補修	13	0	13	9	3
	急傾斜	7	0	7	3	1
石積砂防堰堤の補強		7	0	7	7	5
合計		250	181	431	417	98

※事業化箇所数には、調査設計などに着手している箇所を含む。

ウ 主な新規着手箇所（R3～R5）

区 分		溪流・箇所名	市町名
通常	砂防事業	清水川	福山市
		河野原川	廿日市市
	急傾斜事業	安東7丁目20地区	広島市安佐南区
		高之平2地区	東広島市

エ 主な完成箇所

区 分		溪流・箇所名	市町名
通常	砂防事業	寺戸下川	三次市
	急傾斜事業	畑3丁目地区	呉市
平成30年 災害対応	砂防事業	西ヶ岳川	安芸郡熊野町
	急傾斜事業	南幸町13地区	安芸郡海田町

オ 成果指標による点検結果

ハード対策については、適切な工事発注や工事工程の把握、調整などを行いながら計画的に事業を実施しているところであり、概ね順調に進捗している。

また、ソフト対策のうち、土砂災害警戒区域等の標識の設置や砂防出前講座の開催等の取組については、順調に進捗しているものの、土砂災害リスクの認知度等については、計画の進捗に遅れが生じる状況となっている。

施策 項目	目標・指標					
	項 目	現状値 (R2)	目標値 (R7)	目標値 (R4)	実績 (R4)	進捗 状況
ハード 対策	土砂災害から保全される家 屋数（ビジョン指標）	約116,000 戸	約129,000 戸	—	約123,000 戸	順調
	土砂災害対策整備箇所数 （KPI）	約3,360 箇所	約3,710 箇所	約3,530 箇所	3,528 箇所	概ね 順調
	土砂災害から保全され る防災拠点及び代替施 設のない大規模避難所 （小・中学校）の保全	14箇所	18箇所	—	16箇所	順調
	インフラ・ライフライン 等の対策箇所の保全	1,116 箇所	1,150 箇所	—	1,133 箇所	順調
ソフト 対策	避難の準備行動ができてい る人の割合（ビジョン指標）	13.6%	50%	—	8.4%	R7 確認
	水害・土砂災害リスクの認 知度（KPI）	77%	100%	87%	70%	遅れ
	土砂災害リスクの認知 度	77%	100%	—	70%	遅れ
	マイ・タイムラインを作成 している人の割合（KPI）	—	60%	—	13%	—※
	A Iを活用した地形改変の 抽出	0/5 ブロック	5/5 ブロック	—	2/5 ブロック	順調
	土砂災害警戒区域等の標識	10 小学校区	420 小学校区	—	286 小学校区	順調
	砂防出前講座	30 学校/年	30～50 学校/年	—	43 学校/年	順調

※当該KPIは、他局（危機管理監）の取組。

遅れの要因と対応

項目	要因	対応
土砂災害 リスクの 認知度	「県内で顕著な被害のあった災害が発生していない期間が続き、県民の災害への意識が薄れている」*ことなどが目標を達成できなかった要因と考えられる。	学校等での啓発を引き続き行うことや、「自宅の危険性について調べたくなるきっかけ」を提供することが必要との有識者の意見*を踏まえ、引き続き、小学校への土砂災害警戒区域等を示した標識の設置を進めるとともに、小中学校を対象とした出前講座において、3DマップやVR・AR等土砂災害リスクに関心をもたせる教材を積極的に活用していく。また、土砂災害警戒区域等を示した標識の設置箇所を拡大する。

*「令和4年度防災・減災に関する県民意識調査」の結果に対する有識者の分析等による。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（R5当初予算、R4補正予算）

126億円

(5) 今後の対応

ハード対策については、引き続き、計画に掲げる目標・指標の達成に向け、事業実施状況の点検や適切な工程管理などを行いながら、着実な事業進捗を図る。

ソフト対策のうち、順調に進捗している取組については、引き続き、計画に掲げる目標・指標の達成に向け、着実な取組の進捗を図る。また、土砂災害リスクの認知度については、有識者の意見も踏まえた上で、関係機関と連携し、進捗管理を行いながら着実に取組を推進していく。

4 その他（関連情報等）

—

砂防 寺戸下川 通常砂防事業(三次市)

背景・整備効果

一級河川江の川水系寺戸下川は広島県三次市三次町に位置し、保全対象として人家55戸、県道等がある。また、当溪流の上流域は荒廃が著しく、今後の豪雨により土石流等の土砂災害が発生する恐れがある。このため、土砂災害を未然に防止する土砂災害対策施設整備を推進する。

事業の概要

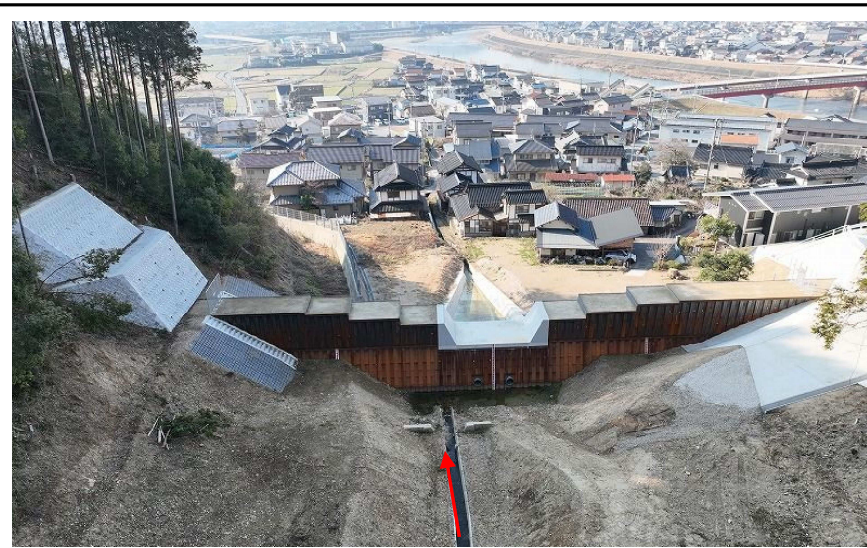
事業内容： 砂防堰堤 1基

整備計画： 令和7年度までに完成

進捗段階： 完成



整備前(平成25年)



整備状況(令和5年2月)

急傾斜 畑三丁目地区 急傾斜地崩壊対策事業(呉市)

背景・整備効果

畑三丁目地区は、呉市音戸町に位置し、保全対象として人家33戸と国道20m等がある。また、当該急傾斜地には花崗岩が広く分布し、風化により斜面の荒廃が進行しており、がけ崩れ等の土砂災害が発生する恐れがある。このため、土砂災害を未然に防止する、吹付法枠工や待受擁壁工などの急傾斜地崩壊対策施設の整備を行った。

事業の概要

事業内容：吹付法枠工 約5,600㎡、待受擁壁工 約450㎡

整備計画：令和7年度までに完成

進捗段階：完成



整備前(平成25年)



整備状況(令和5年5月)

砂防 西ヶ岳川 砂防激甚災害対策特別緊急事業(安芸郡熊野町)

背景・整備効果

二級河川二河川水系西ヶ岳川は安芸郡熊野町に位置し、保全対象として人家132戸、県道等がある。また、当溪流は平成30年7月豪雨により土石流が発生しており、流域内には溪岸浸食や崩壊地が多数あり、溪流は著しく荒廃しているため、砂防激甚災害対策特別緊急事業により土石流対策を行い、再び発生する土石流に対して、土砂災害を防止する土砂災害対策施設整備を推進する。

事業の概要

- 事業内容： 砂防堰堤 1基
- 整備計画： 令和7年度までに完成
- 進捗段階： 完成



整備前(平成30年7月)



整備状況(令和4年11月)

急傾斜 南幸町13地区 急傾斜地崩壊対策事業(安芸郡海田町)

背景・整備効果

南幸町13地区は、安芸郡海田町南幸町に位置し、保全対象として人家14戸がある。また、当該急傾斜地は平成30年7月豪雨に伴う法面崩壊によって人家等に損傷被害があり、崩壊地について緊急対策事業を実施したところである。今後、崩壊地周辺においても、同様に土砂災害が発生する危険性が高いことから、再度災害防止を目的とし、吹付法枠工や待受擁壁工などの急傾斜地崩壊対策施設の整備を行った。

事業の概要

事業内容：吹付法枠工 約740㎡(緊急対策分含む)、待受擁壁工 約100m

整備計画：令和7年度までに完成

進捗段階：完成



整備前(平成30年7月)



整備状況(令和3年12月)